

令和8年度入学 総合型選抜

レクチャー①・レクチャーレポート・レクチャー②・ふりかえりレポート 講評

レクチャー①

【概要】

テーマ： ごみの資源化を考える～日本の廃棄物排出とリサイクル～

ごみの排出と私たちの生活との関わりについて、日本における一般廃棄物の排出・最終処分・リサイクルの動向から扱った。一般廃棄物の区分を押さえた上で、排出と最終処分量の推移と減量化の取り組み、減量化の一部を成すリサイクルに関する施策と、リサイクルの前提となるごみの分別・回収について説明した。その上で、ごみの資源化に関して自分ができることについて思考を促した。

レクチャーレポート

レクチャー①で解説した図表や考え方を正しく理解できているかを問うとともに、複数の図表から適切な情報を抽出・整理し、論理的に説明できる力、及び自分の考えを根拠に基づき論理的に説明できる力をみることをねらいとした。

問1

【出題のねらい】

日本における一般廃棄物の排出を素材に、適切な図表を選び、正しく読み取る力、及び読み取ったことを論理的に説明できる力をみることをねらいとした。

【講評】

(1)は【図表1】とこれに関連するレクチャー内容を踏まえ、家庭から排出される廃棄物の区分と処理責任の所在、及び排出者の責任を説明する問題である。概ね良好な解答状況だったが廃棄物の区分について説明不足の解答もあった。

(2)は【図表2】から一般廃棄物の排出量と最終処分量の増減関係を読み取り、その背景を【図表3】に示された減量化の状況と関連付けて説明する問題である。それぞれの量の増減の説明はできていたが、一般廃棄物の排出量及び最終処分量と減量化との関係について説明不足の解答もあった。

(3)は【図表4】の計算式と数値から、指示された数値を求める問題である。比較対象となる年度を【図表2】から判断し、【図表4】の数値から計算する必要があったが、計算に【図表4】以外の数値を用いている解答がみられた。

問 2

【出題のねらい】

日本における一般廃棄物のリサイクルを素材に、適切な図表を選び、正しく読み取る力、及び読み取ったことを論理的に説明できる力をみることをねらいとした。

【講評】

(1)は、【図表 5】の文字情報を適切に整理し、【図表 2】の数値的变化と関係付けて説明する問題である。【図表 5】の整理に関して、説明が法の改定に留まり、その目的にまで触れていない解答、すなわち説明に不足のある解答がみられた。

(2)は、【図表 7】を踏まえて設問の状況を説明し、設問が定める自治体住人として判断する問題である。説明の対象を付箋紙にした解答、指定された自治体を誤った解答がみられた。

(3)は、設問が示した文章の誤りを、【図表 8】を元に指摘し、訂正する問題である。概ね良好な解答状況だったが、誤った箇所の指摘に不足がある解答もみられた。

問 3

【出題のねらい】

日本における一般廃棄物の回収を素材に、適切な図表からの確に情報を整理・説明する力、及びその情報を自分事として置き換え、考察する応用力をみることをねらいとした。

【講評】

(1)は、【図表 9】【図表 10】【図表 12】を用いて、2つの素材の回収状況を読み取り、相違が生まれる背景についての仮説を説明する問題である。回収状況は「回収量」と「回収率」の両方に触れて説明する必要があるが、どちらか一方に触れるに留まる解答、すなわち説明が不足している解答がみられた。

(2)は、レクチャー全体を踏まえ、ごみを捨てる側としての自分の考えや関わり方について、変化や深まりを述べる問題である。自分が実際に行ってきたことを述べるに留まる解答、すなわち変化や深まりが述べられていない解答や、関わり方の対象が自分に向けられていない解答、すなわち自分の考えや関わり方が述べられていない解答がみられた。

レクチャー②

【概要】

テーマ： ごみの削減を考える～日常生活と私たちの役割～

レクチャー①を受け、「ごみの削減」について、容器包装という日常生活により身近な事例から扱った。おもに紙製とプラスチック製に焦点を合わせ、家庭系ごみにおける容器包装廃棄物の素材別比率、容器包装のリサイクルにおける消費者の役割や注意事項を説明した。その上で、プラスチック製品に焦点を当て、プラスチックを利用したサービスの在り方やプラスチックごみ問題解決に関する消費者意識を確認し、ごみの削減は購入時の商品選択とも関わっていることへの気づきを促した。

ふりかえりレポート

レクチャー②の内容を正しく理解し、複数の資料を活用して、正しく説明できる力をみるとともに、グループワークでの他者の意見を参考にして自身の考え・主張を客観的に表現する力、2つのレクチャーとグループワークを通して、自らの考えがどう変化したか、あるいは深まったかを、根拠を明確にしながら論理的に説明できる力をみることをねらいとした。

問 1

【出題のねらい】

レクチャー②の内容を正しく理解した上で、資料を正しく読み取り、複数の資料を組み合わせ、適切に説明する力をみることをねらいとした。

【講評】

(1)は、【図表 3】と【図表 4】から指定した素材の相違を読み取り、説明する問題である。概ね良好な解答状況だったが、扱うべき素材に不足のある解答もみられた。

(2)は、【図表 5】を指定された立場に立って説明する問題である。リサイクルに関する4つの役割に触れて説明する必要があったが、排出抑制に触れていない解答がみられた。

(3)は、【図表10】の各項目を、消費者の役割と関連付けて整理し、説明する問題である。分別排出と排出抑制ともに、概ね適切に整理されていたが、排出抑制に含まれるリサイクルに関わる項目に言及のない解答もみられた。

問 2

【出題のねらい】

自己ワーク及びグループワークの振り返りを通じ、自分の意見と他者の意見との区別や、他者の意見を参考にした考えの深まりを、根拠を明示して客観的に評価できる力をみることをねらいとした。

【講評】

(1)は、自己ワーク時における自分の意見を、素材と行動の関係性と、そのように考えた背景を明確にして説明する問題である。素材と行動は明確であるが、その関係性についての考えが不明確な解答、素材と行動及びその関係性は明確であるが、考えの背景に触れられていない解答がみられた。

(2)は、グループワークを経た後の自分の考えの変化、または深まりを、グループワークでの他者の意見との関係を明示しながら説明する問題である。自分の考えの維持や変化、及びその理由は述べられているが、それがグループワークでの議論をどのように踏まえた結果であるのか、すなわち自分の考えと他者の考えの关系到言及していない解答が多くみられた。

(3)は、レクチャー②やグループワークを踏まえ、「容器包装ごみの削減」に関する自分の考えの変化や深まりを説明する問題である。特に、グループワークでの「ポスター内容」の話し合いをもとにして、「容器包装ごみの削減」についてどう考えるか、という思考の展開が必要であったが、ポスターの体裁上の工夫やポスター内容についての考えの変化や深まりなど、発信者の立場に終始している解答、すなわち「容器包装ごみの削減」についての考えを述べていない解答が多くみられた。

問3

【出題のねらい】

レクチャー①②、グループワークを通じて得た自分の考えと、これまでの学修・体験で得ていた自分の考えを比較し、その変化や深まり説明する力、及び対象を容器包装ごみからごみ全体に拡大することによる、知見を応用する力をみることをねらいとした。

【講評】

これまでの経験を踏まえたこれまでの自分の態度や行動、レクチャーでの知見を踏まえた現在の自分の考え方、いずれか一方のみを述べている解答がみられた。また、社会全体に求められることを述べ、自分の態度や行動を述べていない解答、少数ではあるが説明対象の変化に対応できていない解答もあった。